協働によるまちづくり
活動発表会

～来て、見て、活かす！まちづくりのヒントが満載～

開催報告書

主催：掛川市（生涯学習協働推進課 （まちづくり協働センター））
共催：掛川市地区まちづくり協議会連絡会
協力：掛川市区長会連合会
　　掛川市地域生涯学習センター連絡協議会
　　地区福祉協議会連絡会
　　ＮＰＯ法人掛川シニア交流研究会

目　次

市長あいさつ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１

地区まちづくり協議会連絡会長あいさつ・・・・・・・・・・・・・　２

開催結果概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　３

まちづくり活動発表資料（アドバイザー講評）・・・・・・・・・・・　４～３１

アドバイザー紹介・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　４

① 南郷地区まちづくり協議会【ペット防災】・・・・・・・・・・・・・　５～　９

② 掛川第三地区まちづくり協議会【何でも手伝い隊】・・・・・・・・・１０～１３

③ 大須賀第一地区まちづくり協議会【おおすかミニ役場かわらばん】・１４～１６

④ 大坂地区まちづくり協議会【不法投棄回収事業】・・・・・・・・・・１７～２２

⑤ ＮＰＯちゃんぷる【おわだ秋桜まつり】・・・・・・・・・・・・・・２３～２４

⑥ 掛川市消費者協会【悪質商法を撃退！啓発出前講座】・・・・・・・２５～２６

⑦ 株式会社杏林堂薬局【地域と歩む杏林堂薬局の健康増進活動】・・・２７～３０

全体講評（日詰 一幸）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　３０

まちづくり活動紹介エリア・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　３１

記録写真・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・３２～３３

アンケート結果・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　３４

「協働によるまちづくり」飛躍に向けて

「協働によるまちづくり活動発表会」は、昨年まで開催されていた「協働によるまちづくりフォーラム」の次のステップとしまして、協働によるまちづくりの気運を更に高めることを主眼に皆様と共にまちづくりを考える場であります。当日は、区長様をはじめ地域の皆様、市民活動団体の皆様、企業の皆様ほか多数の方々に御参加いただき、盛大に開催できましたことを深く感謝申し上げます。

さて、掛川市では、「自治基本条例」や「協働によるまちづくり推進条例」また「住民投票条例」など、協働によるまちづくりを進めていく上での、基本的なルールを定めてまいりました。

そして、その成果として、昨年は、市内すべての地区で地区まちづくり協議会が活動をスタートし、市民活動においても、多くの団体が活発な活動を展開され、また、事業所内保育所の開設や市の資産の有効活用など、企業との協働も進んでまいりました。

平成２９年１月に総務省が平成２８年の人口移動の状況を発表しましたが、掛川市は、転入超過が１２８人と、県内の人口１０万人以上の１０市の中で１位でありました。特に、０～４歳と、２５歳～４４歳の世代が突出して増加しており、子育て世代が多く転入してきております。掛川市が持つ豊かな自然環境や、良質で高度な医療などの魅力が評価されるとともに、市民と市が協働して進めてきた企業誘致や子育て支援等の取り組みが、成果となって現れ始めていることを実感しているところであります。

今回の結果を引き続き継続するためには、協働によるまちづくりを根幹とした様々な活動が更に活発化していくことが大変重要であると思っております。

結びに、協働によるまちづくりの更なる飛躍に向け、引き続き皆様のお力添えをお願い申し上げますとともに、皆様のますますの御活躍を御期待申し上げ、挨拶とさせていただきます。

平成２９年　３月吉日

掛川市長　松井　三郎

地域主体による住民自治の実現に向けて

日頃、皆様方には、各地区におけるまちづくり活動にご尽力をいただきまして、誠にありがとうございます。改めてお礼申し上げます。

掛川市地区まちづくり協議会連絡会を代表し、ご挨拶申し上げます。

さて、平成２８年度もあとわずかとなりましたが、平成２８年度は市内３１全ての地区で、地区まちづくり協議会が活動を開始し、地域コミュニティの形が新たなステージへと移行した、エポックメーキングな記念すべき年となりました。

それは、とりもなおさず、やがて訪れる超少子高齢化社会の到来を見据え、地域内分権の考え方に立脚した、自治基本条例の基本である、①地域のことは、地域が主体的に考え決める住民自治の実現と、②少子高齢化の進展に対処するため、みんなで支え合う社会の実現、そして、③多様化する市民ニーズに対応できる協働のしくみづくりを目指すものであります。

活動を開始してほぼ１年の間に、協働によるまちづくに意欲的に取り組んで来られた地区まちづくり協議会や、市民活動団体、さらに企業の皆さんから、その活動内容を発表していただき、これから進める各地区におけるまちづくり活動への、新たな気付きとなれば幸いです。

いずれにいたしましても、活動はまだ始まったばかりであります。まちづくり協議会の活動として、既存の組織の活動も継続されるでしょうし、あらたな視点による取り組みも行われるものと思います。組織の改変も必要になるかもしれません。

目指す方向は同じですので、あせらず、着実に、そして柔軟かつフレキシブルに対応していただきたいと存じます。

狭い、自分の地区の活動のみにとらわれることなく、他地区の活動も参考にしながら情報共有を密にして、視野を広く、さらに自らの組織だけでは出来そうもないが、他の団体や組織の力を借りれば可能となるような事業についても、お取り組みいただきたいと存じます。

結びに、この活動発表会が、皆様方のこれからの協働によるまちづくり活動のエネルギー源となることを願っております。

平成２９年　３月吉日

掛川市 地区まちづくり協議会連絡会　会長 中村隆哉

協働によるまちづくり活動発表会

～来て、見て、活かす！ まちづくりのヒントが満載～

開催結果概要

（１）事 業 名　平成２８年度　協働によるまちづくり活動発表会開催事業

（２）日　　時　平成 29年２月１６日（木）13:30～16:30

（３）会　　場　掛川市文化会館シオーネ　大ホール・ホワイエ

（４）主 催 等　主催：掛川市生涯学習協働推進課（掛川市まちづくり協働センター）
共催：掛川市地区まちづくり協議会連絡会
協力：掛川市区長会連合会、掛川市地域生涯学習センター連絡協議会、
掛川市地区福祉協議会連絡会、ＮＰＯ法人掛川シニア交流研究会

（５）目　　的　平成 28 年４月から、地区による主体的なまちづくり活動組織である「地区まちづくり協議会」の活動がスタートし、「協働によるまちづくり開花の年」として、より住みやすいまちにしていくための様々な事業が活発に行われるようになった。さらなるまちづくりへの気運を高めるため、市内各地で行われたまちづくり活動の事例を発表し、参加者が様々な取り組みを知ることによる、新たなる気づきを得る場として、また、活動に対する評価、功績に対する労いを目的とした「協働によるまちづくり活動発表会」を開催いたしました。

（６）内　　容　・まちづくり活動発表会（大ホール）
【発表団体】７団体
（地区まちづくり協議会 ４団体、ＮＰＯ ２団体、企業 １団体）
協働の視点で特色あるまちづくり活動を行った団体が、その活動を発表することで、あらゆるセクションからの参加者がまちづくりへの関わりや、自らができる事を意識し、今後の取り組みへの気づきを得る場となった。また、アドバイザーによる講評からさらなる活動発展へのヒントが与えられた。
・まちづくり活動紹介エリア（ホワイエ）
【展示団体】１６団体
（地区まちづくり協議会 ２団体、ＮＰＯ １２団体、企業 ２団体）
パネル展示により、市内外で行われている様々なまちづくり活動の取組を紹介し、交流をもってもらうことができた。

（７）参 加 者　６２０名
地域組織 ４９４人
（地区まちづくり協議会、自治会、地域生涯学習(地区)センター、地区福祉協議会等）
市民活動団体等 ５２人、企業等 １８人、行政等 ５６人

まちづくり活動事例発表

○ 南郷地区まちづくり協議会「ペット防災」
○ 掛川第三地区まちづくり協議会「何でも手伝い隊」
○ 大須賀第一地区まちづくり協議会「おおすかミニ役場かわらばん」
○ 大坂地区まちづくり協議会「不法投棄回収作業」
○ ＮＰＯちゃんぷる「おわだ秋桜まつり」
○ 掛川市消費者協会「悪質商法を撃退！啓発出前講座」
○ (株)杏林堂薬局「地域と歩む 杏林堂薬局の健康増進活動」

アドバイザー 紹介

高木 敦子
Takagi Atsuko

静岡県地域づくり アドバイザー

より暮らしやすく、魅力的な地域とするために活動する皆さんに、環境デザインや協働という視点から、地域資源を生かし、達成感を持つことができるよう具体的なアドバイスを行っています。

日詰 一幸
Hizume Kazuyuki

静岡大学 人文社会科学部教授

掛川市政策アドバイザー（2013～）
掛川市自治基本条例の策定市民委員会の座長を務め、掛川市のまちづくりをよく知る、まちづくりの第一人者として、日々研究をされています。

千野 和子
Chino Kazuko

（公財）ふじのくに未来財団 副代表理事

公益財団法人ふじのくに未来財団副代表理事として、「もっと、いいまちにしたい」と、自ら汗をかき活動している皆さんを応援するため、人材や資金等の情報を提供しています。

川端 務夢
Kawabata Tsutomu

掛川市協働による まちづくりアドバイザー

掛川市協働による
まちづくりアドバイザー（2015～）
静岡県のＮＰＯ中間支援機関「ふじのくに西部ＮＰＯ活動センター」のセンター長を歴任し、現在は市内外の市民活動等へのサポートを精力的に行っています。

上記まちづくり団体のまちづくり活動事例の発表に対し、講評をいただくアドバイザーを紹介します。

活動発表 ①

南郷地区まちづくり協議会

【ペット防災】

安全・安心な避難所運営のために、ＮＰＯ法人と協働により、地域でペットについて考え、人とペットのための同行避難訓練に取りくみました。

訓練により「ペット管理班」創設や「ペット同行避難ガイドブック」の作成ができました。

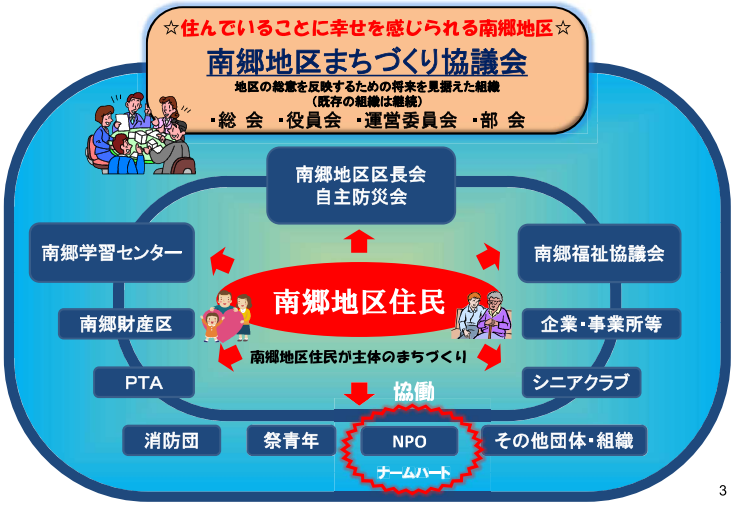
はじめに

平成27年2月に南郷地区まちづくり協議会を設立。地区の重点課題として防災対策の諸施策に取り組む。

東日本大震災では、飼い主と離れたペットの存在が問題になりました。南海トラフ地震では震度６強の強い地震が予想される南郷地区は、多数の家屋の倒壊が心配されています。少子高齢化や核家族化が進展するなか、ペットは家族同様の存在となっています。一時的にも避難所に避難しなければならない状況が起こった時のために、飼い主が事前にしておくことや、避難所でのなすべきことについて、ペットの専門家集団であるＮＰＯ法人のナームハートと掛川市の協働推進事業として活動を開始。

2

南郷地区まちづくり協議会構成図

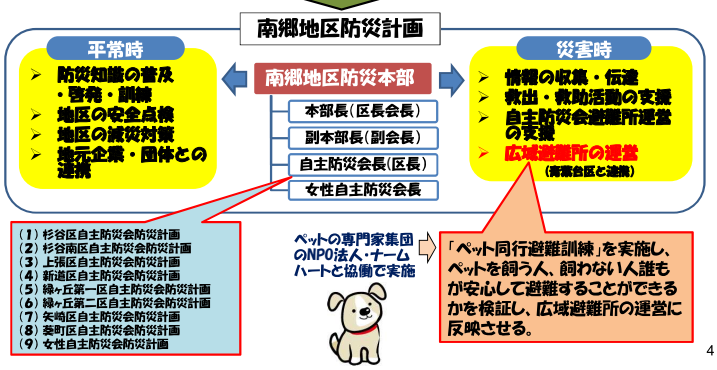


3

南郷地区防災計画

各自主防災会では出来ない事項や南郷地区全体で取り組むべき事項を計画に織り込む。

地域全体を視野に入れた連携と運営



4

避難場所及び避難所

自治区	自主防災会役者対策本部	自主防災会避難場所	自主防災会避難所		広域避難所
			地震時	洪水時	
杉谷区	杉谷公会堂	杉谷公園 杉谷記念公園	杉谷公会堂	杉谷公会堂	掛工高校 （＋青葉台区）
杉谷南区	杉谷南公会堂	杉谷南公会堂 公園（5箇所）	杉谷南公会堂	杉谷南公会堂	
上郷区	上郷区公会堂	上郷区公会堂	上郷区公会堂	上郷区公会堂	
矢崎区	矢崎公会堂	上郷1号公園	矢崎公会堂	矢崎公会堂	
満町区	満町公会堂	あおい公園	満町公会堂	南郷学習センター	
弥ヶ丘1区	弥八公園	弥八公園	弥八公園	なし	
弥ヶ丘2区	弥八公園	弥八公園	弥八公園	なし	
新道区	新道公会堂	新道公会堂 しろさぎ公園	なし		

（参考）避難所等の標高
- 掛工 36m
- 南郷学習センター、満町公会堂 34m
- 弥八公園 31m
- 緑ヶ丘・新道公会堂 28m

東日本大震災では、避難場所と避難所を間違えるケースが多発し混乱。

避難場所

命を守るために緊急避難する場所

避難所で生活しなくても済むように、事前にどうすべきか！

避難所

自宅に住めなくなった場合、避難生活をする所

女性の視点

ペットとの関わり

活動の経過

年	月	日	項目	内容
平成27年	9月	7日	第1回幹事会	地区委員とNPOの役割分担 アンケート実施内容について 第1回ワークショップについて
		23日	第2回幹事会	地区委員の選任 アンケート調査について 第1回実行委員会について
		末日	アンケート調査票配布	災害時のペット飼育を考えるアンケート調査（飼育世帯）
	10月	6日	第1回実行委員会	出前講座「ペットと防災」 講師：静岡県動物管理指導センター所長補佐　山下昭広氏 第1回ワークショップ テーマ「ペットとの同行避難の課題を出しあってみよう！」
		16日	第3回幹事会	第1回ワークショップのまとめ 第2回実行委員会について
		25日	第2回実行委員会	講演「ペットと防災を考える」 講師：東京都獣医師会　事務局長　平井潤子氏 第2回ワークショップ テーマ「防災訓練で何をしたらよいか考えよう！」
	11月	5日	第4回幹事会	第2回ワークショップのまとめ アンケート集計結果(中間) 防災訓練実施内容について
		23日	南郷文化祭への出展	ペット防災コーナーの設置
		26日	第3回実行委員会	防災訓練実施内容について 同行避難者へのお願い
		末日	ペット同行避難訓練のお知らせ(回覧)	一般見学者への参加依頼
	12月	6日	ペット同行避難訓練のお知らせ(回覧)	地域防災の日の午後に実施(参加者80名)
		10日	静岡県庁表敬訪問	地域住民によるペット同行避難訓練の実施状況報告 健康福祉部　生活衛生局　岡山局長他5名 中村会長、守屋事務局長、ナームハート戸塚事務局長
平成28年	1月	28日	第5回幹事会	10月に実施したアンケート調査結果 訓練当日のアンケート集計結果 12/6訓練の振り返り マニュアルづくり
	2月	12日	第4回実行委員会	12/6訓練の振り返り ペット運営マニュアルについて ペットガイドブックについて
	3月	31日	ペット同行避難ガイドブック発行	700部印刷

※活動準備期間(6月～8月)およびマニュアル、ガイドブック作成のための打ち合わせ等は記載を略す。

幹事会の発足および運営
（各自治区防災会長、NPO法人　計15名）

実行委員会の発足および運営
（幹事会＋ペット飼育者　計38名）

アンケート調査実施（飼育世帯）
ワークショップ 開催(2回)

ペット同行避難訓練（参加者80名）

ペット管理班マニュアル、
ペット同行避難ガイドブックの作成

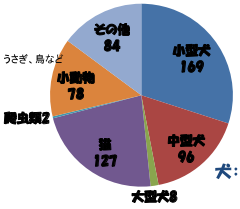
防災台帳　全戸配布
各自治区にてペット数把握

ペット同行避難ガイドブック配布

「南郷地区ペットの会」
今年度中に立ち上げ予定

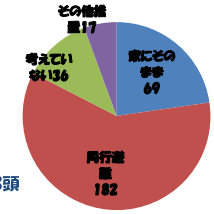
アンケート調査（訓練前）

対象：ペット飼育世帯



犬：273頭

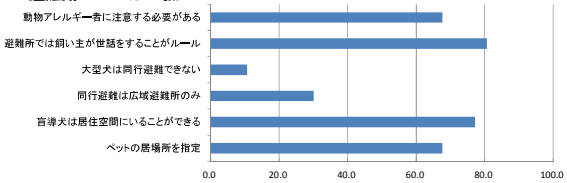
ペットの種別



被災した場合のペットの扱い

アンケート結果まとめ
　ペットも家族という一員という世帯が多数を占め、災害時には同行避難してくることを想定しなければならない。そのため、ペットも一緒に避難できる保護場所を確保し、ルールを定めたうえで、同行避難訓練を行う必要がある。
　既存の保護場所で対応が不可能な場合には、新たな場所の確保が求められる。

避難所でのペットの扱い



ワークショップ

■第1回ワークショップ　平成27年10月6日
テーマ「ペットとの同行避難の課題を出しあってみよう！」
■第２回ワークショップ　平成27年10月25日
テーマ「防災訓練で何をしたらよいか考えよう！」

南郷文化祭でペット防災コーナー設置

～ワークショップで写真展開催のアイデアより実施～
(住民へのペット防災の啓発)

■平成27年11月23日

事業内容

【目的】
ペット同行避難訓練を通じて、飼育者、非飼育者ともにペット防災の必要性を感じること、および大地震等災害時の被災地としての課題を浮き彫りにし、当地区に相応しいペット防災マニュアルづくりに反映させることを目的とする。

【訓練詳細】
(1)開 催 日:　平成27年12月6日（日）地域防災訓練の終了後
(2)実施場所:　静岡県立掛川工業高校（南郷地区及び青葉台区の広域避難所）
(3)地区、団体：南郷地区まちづくり協議会、青葉台区自主防災会
　　NPO：NPO法人・人とペットの暮らしを育む会ナームハート
　　行政：静岡県動物管理センター、掛川市役所（危機管理課、環境政策課）
(4)参加状況:　地域住民と飼い犬および飼い猫
(5)実施内容
　　①ペットを同行しての避難訓練
　　②保護場所での訓練
　　③獣医によるレクチャー
　　④訓練後のアンケート実施

訓練内容

集合
- 自宅から安全に通過点をとおり広域避難所へ集合
- 犬たちが喧嘩なく安全に避難所へ

受付
- 同行避難を伝えペット管理台帳へ記入　登録番号・注射確認
- 獣医の問診（ケガ・チップ・ノミ）、避難所の保護場所ジャッジを受ける

実施
- 保護場所ごと訓練　赤　ブルペン　青　バックネット周辺　黄　並木
  ⇒赤（Aゾーン）ペットやケージの種類大きさを考え、配置を考察
  ⇒青（Bゾーン）ケージに雨風を避けられる工夫
  ⇒黄（Cゾーン）樹木やポールにつなぐ

指導
- 獣医から日頃の躾や備えをレクチャー

広域避難所にて「ペット同行避難訓練」 平成27年12月6日

ペットの受け入れ
17頭の予定が44頭（猫1匹含め）に増加

それぞれの保護場所に移動

獣医による問診

保護場所ジャッジと識別カード記入

保護場所での訓練及びワークショップ
平成27年12月6日

Aゾーン
ケージの種類、配置を考察

- ケージの配置はどのようにしたらよいか。
- 借り物のケージに入れるか否か。
- 人の避難所の体育館と大変離れているが、どうか。
- ここで何が必要か。
- 餌はどの位用意すべきか。

Bゾーン
ケージに雨風を避けられる工夫

- 雨天下にシートを張って、保護場所が確保できるか否かを体験。
- ケージの中では犬は静かでおとなしかった。

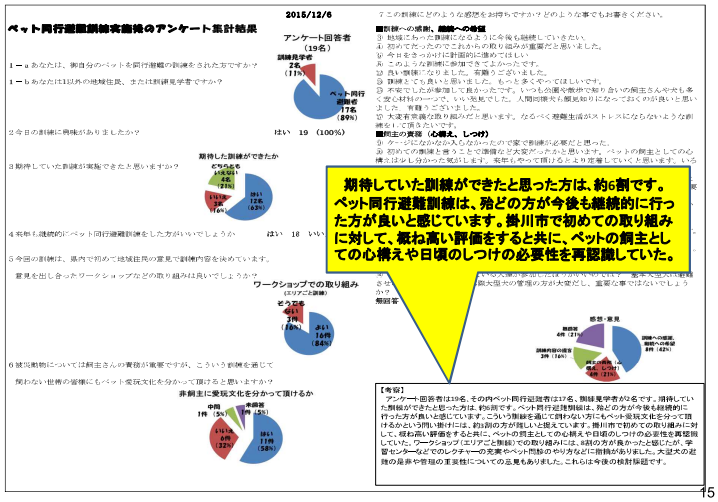
Cゾーン
並木に係留

- ここでは並木に犬が接触せずに係留できるか体験。
- 有事に吠えずにいられるか。
- 大型犬は基本的に避難できないが、避難してきた場合も考える必要がある！

静岡県動物管理指導センターによるレクチャー
～日頃の躾が防災に～

日頃から、各自治区ではペット飼育家庭との声かけや、連絡が取りやすい状況にしておくことが大切。

アンケート集計結果（訓練後）



ペット同行避難訓練実施後のアンケート集計結果

2015/12/6

アンケート回答者（19名）

1－a あなたは、御自分のペットを同行避難の訓練をされた方ですか？

1－b あなたは1以外の地域住民、または飼育見学者ですか？

2 今日の訓練に興味がありましたか？　はい　19　(100%)

3 期待していた訓練ができたと思いますか？

4 来年も継続的にペット同行避難訓練をした方がいいでしょうか　はい　18　いい

5 今回の訓練は、県内で初めて地域住民の意見で訓練内容を決めています。
意見を出し合ったワークショップなどの取り組みは良いでしょうか？

6 被災動物については飼主さんの責務が重要ですが、こういう訓練を通じて関わらない世帯の皆様にもペット愛玩文化を分かって頂けると思いますか？

非飼主に愛玩文化を分かって頂けるか

7 この訓練にどのような感想をお持ちですか？どの様な事でもお書きください。

■訓練への感想、継続への希望

期待していた訓練ができたと思った方は、約6割です。ペット同行避難訓練は、殆どの方が今後も継続的に行った方が良いと感じています。掛川市で初めての取り組みに対して、概ね高い評価をすると共に、ペットの飼主としての心構えや日頃のしつけの必要性を再認識していた。

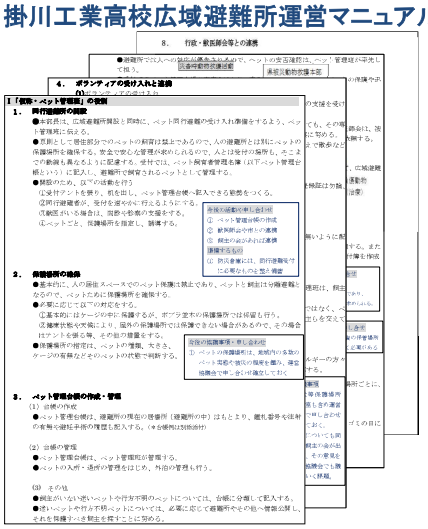
【考察】
アンケート回答者は19名、その内ペット同行延参者は7名、飼育見学者が12名です。期待していた訓練ができたと思った方は、約6割です。ペット同行延参訓練は、殆どの方が今後も継続的に行った方が良いと感じています。こういう訓練を通じて関わらない方にもペット愛玩文化を分って頂けるかという問い掛けには、約8割の方が良いと捉えています。掛川市で初めての取り組みに対して、概ね高い評価をすると共に、ペットの飼主としての心構えや日頃のしつけの必要性を再認識していた。ワークショップ（エリアごと訓練）での取り組みには、8割の方が良かったと感じたが、学習センター化でのレクチャーの充実やペット問題のやり方などに期待が寄せられた。大型犬の避難の是非や管理の重要性についての意見もありました。これらは今後の検討課題です。

成　　果

- ◆掛川工業高校広域避難所運営マニュアルに「ペット管理班」の規定を追加
- ◆「ペット同行避難ガイドブック」を作成
- ◆防災台帳とペット管理台帳を作成
- ◆飼主の会の設置（会員公募、近々発足）

プロセスからの事業成果
- ◆アンケート実施による、ペット数の把握や飼主の意識
- ◆ワークショップによる問題点の共有化
- ◆訓練で分かったこと
  - ・防災を考えた日頃の飼育の大切さ
  - ・ペット防災を学びたいという思いの飼主が多いこと
  - ・避難スペースの問題点
- ◆ 住民のペット防災への関心（アンケート、訓練チラシ、NHK放映）

掛川工業高校広域避難所運営マニュアル「ペット管理班」追加規定

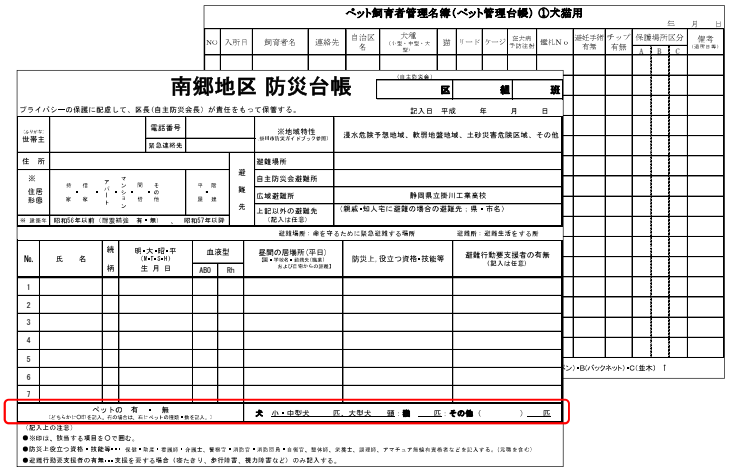


内　　容

1. 同行避難所の開設
2. 保護場所の確保
3. ペット管理台帳の作成・管理
4. ボランティアの受け入れと連携
5. 保護動物の管理
6. 支援物資の管理および 配給
7. 衛生管理
8. 行政・獣医師会等との連携

17

防災台帳とペット管理台帳



18

訓練の様子がNHKテレビで放映

平成27年12月6日18時49分

県下で初めての自治区主催によるペット同行避難訓練

19

参考資料(新聞切抜)

熊本地震による、避難所でのペット受け入れ態勢は・・・

■静岡新聞　平成28年4月24日

■中日新聞　平成28年4月23日

20

平成２８年度コミュニティ活動賞『優良賞』受賞

地域住民が主体的に活発に活動している県下各地域の組織・団体が対象
主催：静岡県コミュニティづくり推進協議会

優秀賞、優良賞の表彰式(静岡市グランシップにて)
平成29年1月31日「コミュニティ・フォーラム2017」

平成28年度コミュニティ活動賞受賞団体

優秀賞（1団体）	
袋井市	用宗活性化協議会
藤枝市	下当間ふれあいサロン<一五の会>
御前崎市	新野未来塾
湖西市	特定非営利活動法人新居まちネット
優良賞（6団体）	
沼津市	浮きウキ子どもクラブ
沼津市	小諸防害委会
富士市	富士の麓deおとなまつり実行委員会
島田市	島田市　茶里エコポリス
磐田市	南郷地区まちづくり協議会
袋井市	三十川コスモス実行委員会
奨励賞（8団体）	

テーマ
「地区のペット防災の確立」

21

南郷地区における防災・減災対策

南郷地区では、防災対策を地区最大の課題と位置付け、ペット防災の他にも、自治区の自主防災計画をベースとした南郷地区防災計画や、命の手帳、地震防災マニュアルの作成・配布と、家屋の耐震対策アンケートの実施などを積極的に展開しています。

22

ご静聴、有難うございました。

23

アドバイザー講評　　高木 敦子

南郷地区は、昔から住んでいる方もいれば新しく転入してきた方も多く、そこをまとめていくのはすごく難しい事だと思いますが、それを成し遂げてなお且つＮＰＯと組んでノウハウを習得し、事業を実施する際も手順をしっかりと踏んでいるのがすばらしいと思います。防災が一番重要だというところからペットの話にいき、それが最終的に防災に戻って住民の安全のスキルが上がっていきます。このような小さなテーマを充実させることで大きなテーマがより充実するという活動は、なかなかありません。これは、リーダーがいいのとそれを支えるスタッフや住民がしっかりと情報を得て、協力する体制ができているということだと思います。

豊かな社会とは選択肢がたくさんある社会のことです。家族しか避難できない選択肢よりも、ペットも連れて避難ができるという選択肢があった方が、豊かな社会になっていきます。そういう選択肢を地域の中でいかに増やしていくかが、最終的に自分たちの幸せになります。南郷地区のこのノウハウを他の地区も共有できるような体制が進んでいくことを期待したいと思います。

活動発表 ②

掛川第三地区まちづくり協議会

【何でも手伝い隊】

公的サービスの各種支援制度の狭間にあるちょっとした困り事を、住民同士の助け合いにより解決を図る「何でも手伝い隊」活動に取り組み、困りごとの解決とあわせて、地域に交流がうまれました。

＜ 住み良い、安心な、まちづくりを目指して ＞

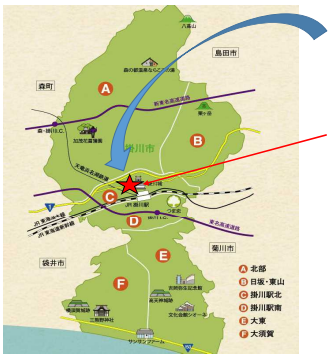
掛川第三地区
「まちづくり協議会」の概要と
“何でも手伝い隊”のご紹介

～～ 支え合い、心豊かなまちづくり ～～

平成29年2月
「掛川第三地区まちづくり協議会」

1

掛川第三地区の紹介



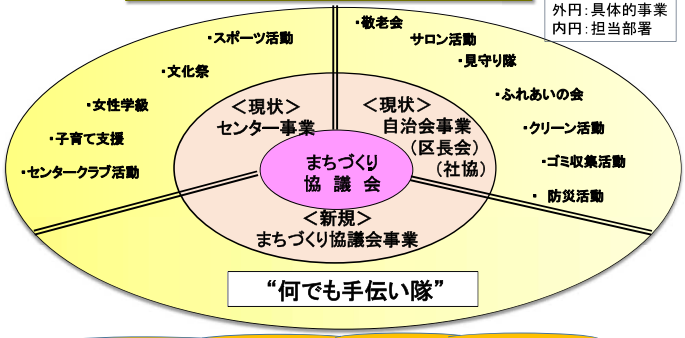
◆地区の概要

掛川第三地区は、掛川駅から西に市役所迄の中心市街地に位置し、主に旧東海道沿いに開けた古くからの商店街や住宅と、昭和30年代から相次いで行われた土地区画整理事業によって、新しく生み出された住宅地で、11区（1，700世帯）から構成されています。

区分	H28. 10. 1現在の数値
世帯数	1，713世帯
人口	4，183人

2

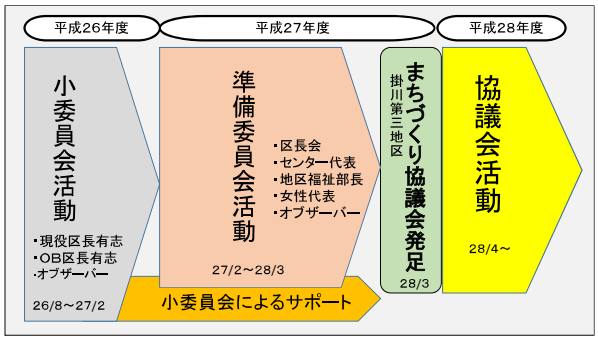
第三地区「まちづくり協議会」の姿



スローガン： 支え合い 心豊かなまちづくり

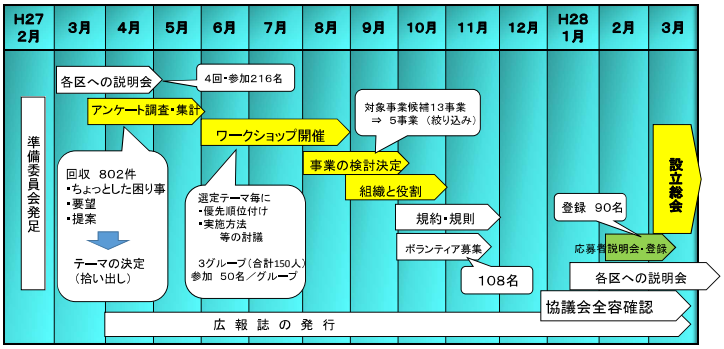
3

立ち上げまでの経過



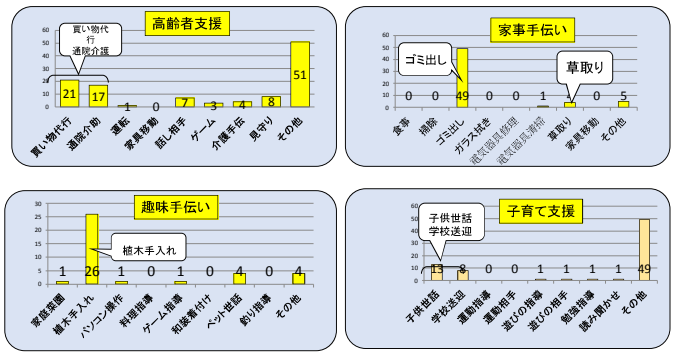
4

設立までの活動



5

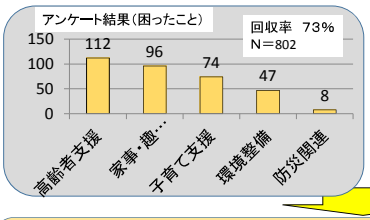
アンケート調査実施



6

<アンケート・ワークショップを基に>

事業の検討



テーマ選定の条件

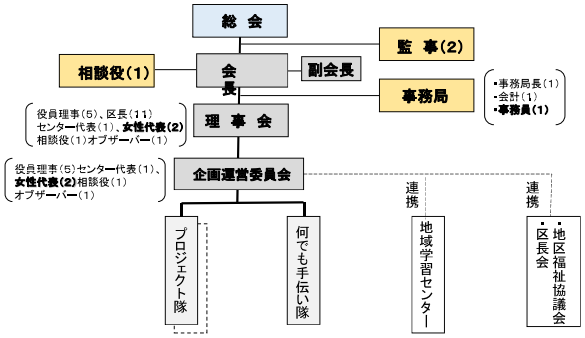
- ◆ 第三地区共通のテーマであること。
- ◆ 少子高齢化に対応すること。
- ◆ アンケート結果尊重すること。

- □ 高齢者支援
- □ 家事・趣味支援
- □ 子育て支援

1次 ◎買物付添、病院付添
1次 ◎大型ゴミ出し、刈込剪定、草取り
2次 ○勉強指導、子供世話

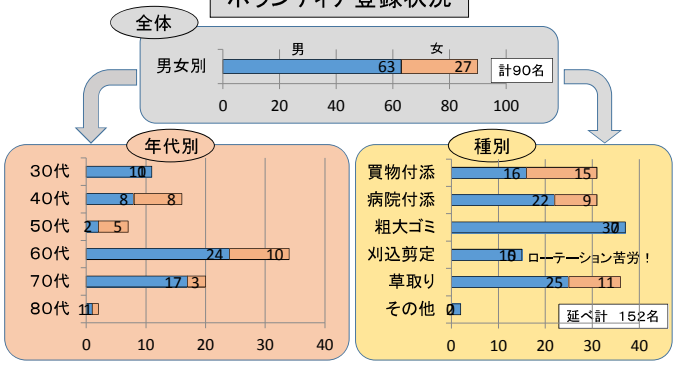
7

運営組織と役割



8

ボランティア登録状況



9

“何でも手伝い隊”活動

＜ 有償ボランティア ＞

10

ボランティアのしおり」の作成

スタッフ・支援者・依頼者への周知

三位一体のまちづくり運営

目　次

1 こんな思いでやってます
2 “何でも手伝い隊”ってどんなことをするの？
3 “何でも手伝い隊”の支援できる内容
4 活動の流れ
5 ボランティアの心得
6 支援者の報酬と依頼者の依頼料の基準
7 支援者の補償保険制度について

11

ボランティア説明会

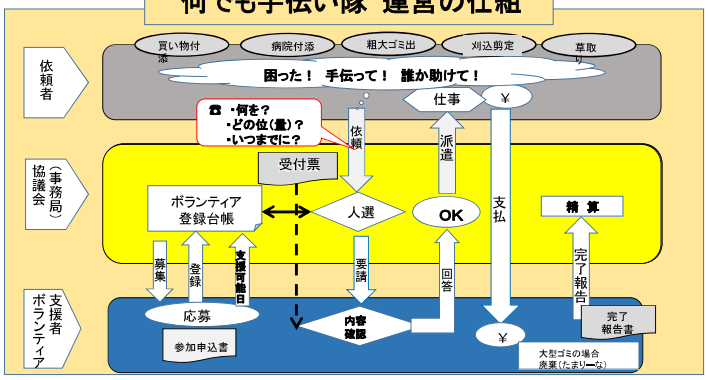
事務局連絡

担当理事の説明

熱心に聞き入る
ボランティア応募者

12

“何でも手伝い隊”運営の仕組



13

ボランティア（支援者）への報酬と利用者の負担

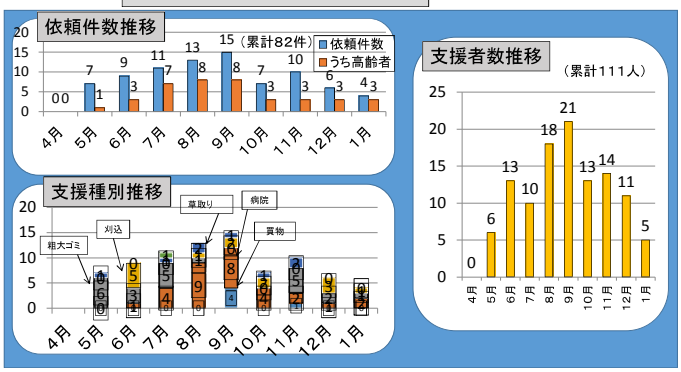
1時間＝500円

80歳以上の世帯（人）は無料

支援項目	具体的活動	ボランティア報酬	利用者負担料
高齢者支援	①買い物付添	1時間あたり500円	一回当たり500円
	②病院付添	中東遠センター　1000円／回 市内医院　500円／回	
家事・買物支援	①粗大ごみ出し	1時間あたり500円	1個あたり500円
	②草取り	1時間あたり500円	同左
	③刈込剪定	1時間あたり500円	同左

14

“何でも手伝い隊”活動実績（H28．5～H29．1）

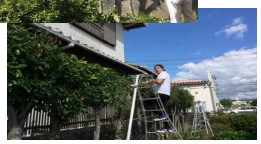


15

活動の様子（その1）

粗大ごみ回収
（出陣式）

猛暑の中
垣根剪定



市議も汗を流してくれました

16

活動の様子（その2）

刈り込み
出動準備中

垣根刈込風景

草取り（草刈り）

17

活動の様子（その3）

買物付添
「これどうする？」

病院付添
「段差あるよ！気を付けて！」

18

今後の取り組み

＜ 現在 ＞

○病院付添

○買物付添

○粗大ごみ回収

○草刈り

○植木刈込

アップ！

ステップ

＜ 今後 ＞

●アンケート調査結果で5つの支援項目の次にニーズがあった
　➡子育て支援（見守り、勉強・運動指導）への拡大）

●高齢化の益々の高まり
　➡高齢者の見守り（認知症の徘徊防止を含む）

19

ご清聴ありがとうございました。

END

20

アドバイザー講評　　川端 務夢

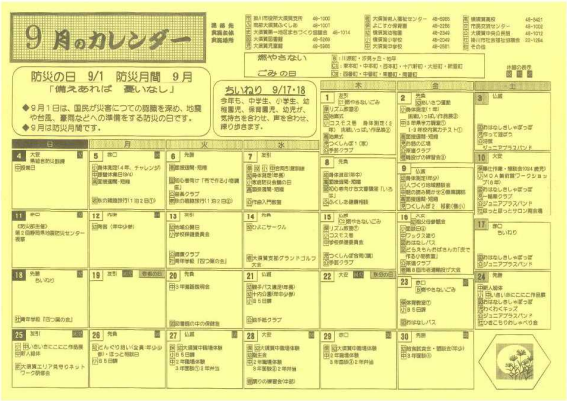
　他の地区や団体の方々がぜひ参考としていただきたいところは、地域住民にアンケートをとったということです。感性的に仮説を立てることは誰にもできることですが、事実がどこにあるかを調べ、困っていることを深掘りしているから、事業がしっかりとしたものに仕上がっています。さらに、アンケート結果に優先順位を決め、「できること」と「できないこと」の線引きをし、それを事業体に変えていったところがすばらしいと思います。
　さらに、こういう活動を始めると熱意のある方がグループ化して次の世代を育てることが難しくなるが、ボランティアのしおりまで作って、次の人材育成につなげているところに継続性が望まれます。今のところ、活動の規範は住民のニーズから生まれているが、未来を予測する力は皆が持っているので、このまま放っておいてはよくないことを未然に防ぐ事業も組み込んでいけるといいと思います。少子高齢化や認知症の問題のなど、専門的な知識を必要とする課題も、協働という仕組みを使ってＮＰＯや行政と提携しながら事業を構築すれば、日本でいちばん住みやすいまちになると思います。

活動発表 ③

大須賀第一地区
まちづくり協議会

【おおすかミニ役場かわらばん】

地区への関心を高め、子どもから高齢者まで様々な世代の交流と地区活動への参加促進を図ることを目的に、地区内の様々な行事をまとめた交流カレンダーを作成しました。

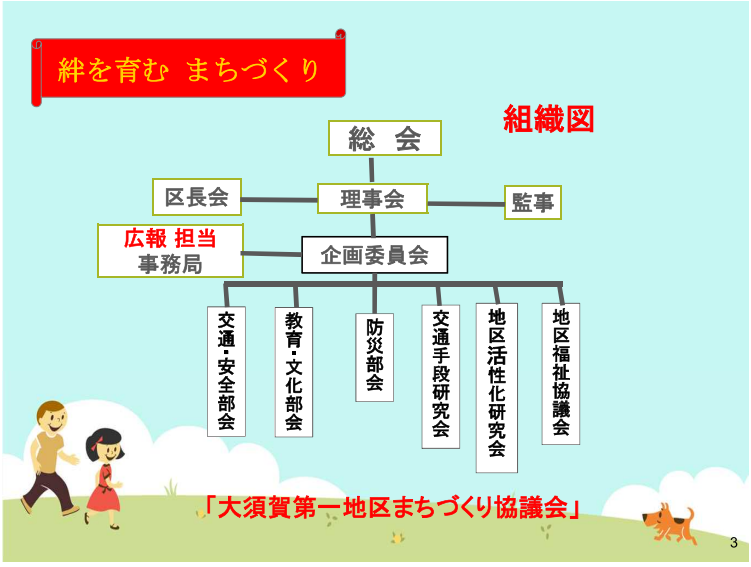


事業名 おおすか版「交流カレンダー」発行

「地区内の情報を共有し、
地区民のつながりをもっと深めたい」

地区内では、毎日どこかで、地域行事や学校行事、また健康診断など、生活に必要な取り組みが行われています。そこで、様々な団体が、それぞれ行う取り組みを月ごとの一覧にまとめ、お知らせできれば、自分に関係する情報はもとより、地区で何が起きているのかもわかるようになります。このようなことから地区への興味を引き出し、行事に多世代が関わり参加することで地域の活性化と世代交流を図ります。

2



「おおすかミニ役場かわらばん」とは

1. 広報担当、事務局、企画委員会により「交流カレンダー」の名称を「おおすかミニ役場かわらばん」と決定した

2. 我が、まち協に適した広報であること
   1）住民が必要とする情報とは？
   2）地元の行事や出来事をタイムリーに発信する
   3）全ての世代が共有できる情報提供をする

4

合併前の「大須賀町行事予定カレンダー」

5

からわばん題字の決定

みんなが元気で楽しいをイメージ、自然との共生
伝統行事や活発な地域交流によるまち全体の発展への祈り

親しみやすさ・手作り感をPR

6

シンボルマークの決定

◆マークの説明

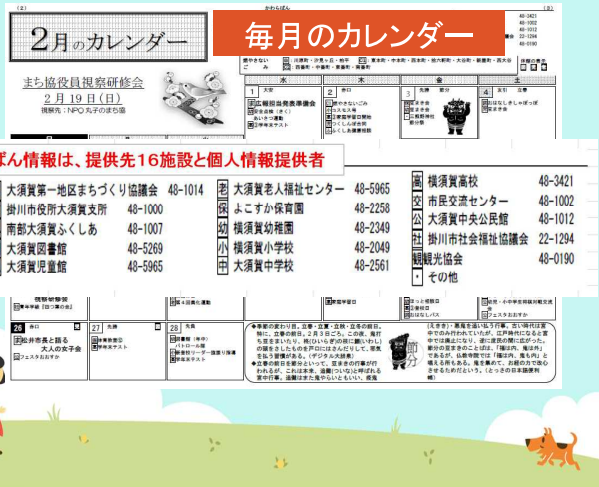
私が最初にイメージしたことは、「みんなが元気で楽しい」ということです。まず、大須賀の豊かな自然とそこに暮らす人たちとの共生をイメージした、人と人・樹木が結びついたシルエットを中央に配置しました。

また、その上下を囲む虹は、街全体が伝統的な行事や地域交流などによって活気が溢れ、豊かであることを表しています。そこには、人間関係を更に育み、街全体の発展を祈る意味も込められています。中央の樹木を様々なものに置き換えることでいろいろな発想がうまれてくるように考えました。

横須賀高校　美術部一部員

7

8



9

「かわらばん」のできるまで

原稿集め：部会等に原稿依頼・カレンダー情報収集　20日/月締め切り

入力・割付・校正：広報部員による誤字・脱字の校正　22日/月校正

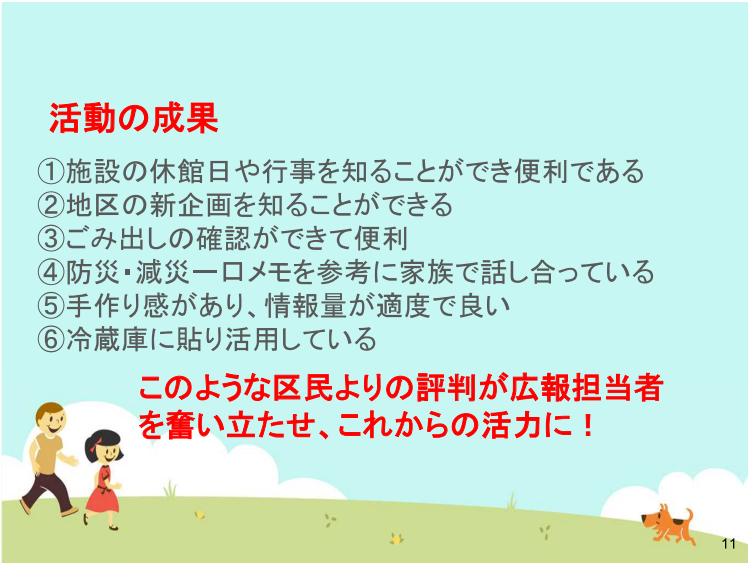
次号の企画・編集・原稿依頼 等

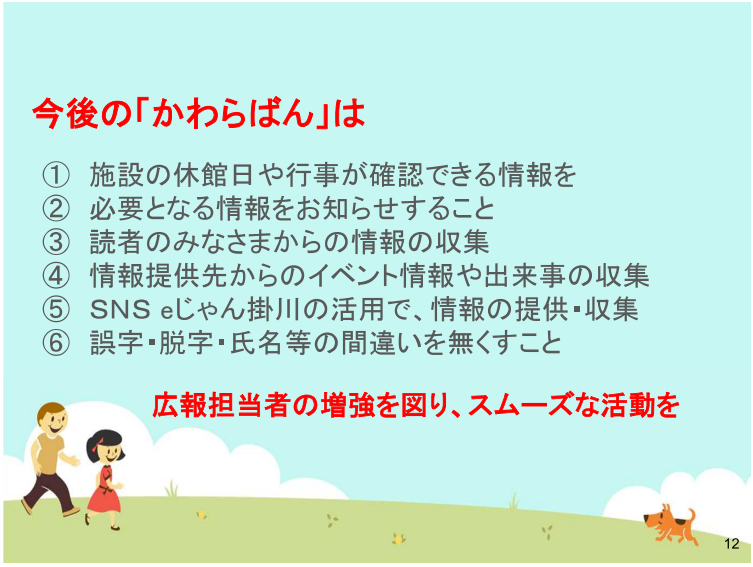
印 刷：約1200枚を両面印刷、当初は部員で印刷、現在は印刷業者委託により効率UP

仕分・配布：14自治会120組に小分け、関連団体10ケ所に配布

月初めには、ご家庭へ

10





アドバイザー講評　　千野 和子

広報のような印刷物を毎月作るのは大変で、とても頑張っていると思います。さらに、女性が会長ということで、やはり主婦としては、家族の全員が関わる行事を一元的に把握しておきたいという思いでこの事業が始まったのではないかという気がしました。もともと私はＮＰＯ活動支援が主な仕事ですが、ＮＰＯ法人の要件のひとつに、自治会や地縁組織は共益的なものだから、ＮＰＯ法人にはなれないという考えが昔はありました。

しかし、最近は地区まちづくり協議会が認定ＮＰＯ法人になったという例もあるので、地区まちづくり協議会の活動をさらに広げていきながら、既存の地縁組織や自治会などとも連携し、さらに学校とも上手に関わって一緒に子どもを育てながらまちづくりが進んでいくことを期待します。

活動発表 ④

大坂地区まちづくり協議会

【不法投棄回収作業】

　地区内の山間部へ捨てられた不法投棄ごみの回収は、大坂地区全体の課題でした。自然が豊かで環境の良い地区にするために、地区住民、地域事業者と環境政策課との協働で、環境美化活動を行いました。

テーマ

不法投棄回収作業

平成29年2月16日
大坂地区まちづくり協議会

1

大坂地区ってどんなところ？

南部に位置し、大坂小学校区に属する地区
（大坂区、三井区、東大坂区））

2

大坂地区内の公共施設　～　シオーネ、大東図書館など

文化会館　1998年開館

大東図書館　2006年　開館

3

歴史的には

貞永寺　貞永元年（1232年）創建

矢柄神社　建久4年（1193年　再造営）

4

東大坂区の皆さんが栽培

時期には是非見にきてね

5

不法投棄回収作業

不法投棄の現状

地域振興部会

6

回収作業の概要

① 平成２１年の回収結果
② 不法投棄の現状
③ まちづくり協議会で取上げた経緯
④ 回収作業の様子と結果
⑤ 活動の成果と今後の展望

7

平成２１年に住民参加で大型家電など回収

参加者：50人

２t車 ５台分

8

不法投棄の現状

- ●平成21年回収 ２ｔ車：５台分
- 平成26年回収 ２ｔ車：1台分
- ●平成28年確認 約2ｔ車：3台分 投棄あり
- ● 平成26年回収箇所 不当投棄なし
- ● 新たな箇所に投棄

《 不法投棄が少しも変わらないのが現状 》

9

【まちづくり協議会の事業として取り上げた経緯】

- ● 平成２１年、26年に回収作業実施
- ● 回収作業の再度取り組みが必要となる
- ● 平成27年7月大坂まちづくり協議会設立
- ● 制定したまちづくり計画に位置付け

[どのように計画を進めました]

10

回収現場と回収作業の写真を見ていただきます

見て頂きたいポイント

- 現場の作業
- 投棄物が多種多様

11

平成２８年１２月回収作業

参加者：**94名**

参加者
- 部会員
- 各区役員
- 民間企業
- 市職員
- 区民ボランティア

12

寺部山･大浜公園中腹の回収現場地図

13

思っていた以上に傾斜がきつく登り降りが大変

14

１人や２人では到底回収できないところが多い

15

冷蔵庫が地面埋まっているため地面を掘り回収

16

ロープを下に降ろすだけでも大変

17

数人しか降りられない場所に投棄が多い

18

頭上は木が覆いかぶさりロープでの回収

19

20

21

回収物：

テレビ、冷蔵庫、自転車、タイヤ、鉄屑、プラ、ビン、など多種にわたっている

22

回収された不法投棄ゴミ

6台分

2台分

1台分

23

回収結果

- 2t トラック　12t 分
- 軽トラック　0.7t 分
- パッカー車　1.5t 分

14.2t 分 回収

かかった費用

看板、ガソリン代、回収袋、ロープ、飲物

総額：34万円

24

防止対策で看板17本設置

25

市で用意した看板10本も設置

26

活動の成果

- 区民が真剣に地域の環境に取り組んだ
- 地域を良くするよう絆が育まれた

27

今後の展望

地域振興部会

中期計画立案	長期計画立案
現場パトロールなど	回収作業など

28

最後に

不法投棄は絶対許さない

私たち、１人ひとりが不法投棄やごみ問題に
もっと関心を持ち取り組んで行くことが
大事ではないかと思いました。

29

大坂地区まちづくり協議会

30

アドバイザー講評　　高木 敦子

30代や40代の若い世代が多く集まったということで、若い世代の関心が高いというのが心強いと思います。

不法投棄の問題というのは、ゴミは地域の人が捨てるのではなく外から捨てに来ることが多いため、理不尽だけれども、地域の安心と安全のために地域が片付けないといけないというジレンマと戦わなればなりません。そこで重要なのは住民一人ひとりが「地域は自分たちで守るんだ」というミッションを持って取り組むことであり、これだけ多くの住民が参加しているというのは、捨てられても捨てられても、とにかく拾ってきれいにしていくという意識が地域で共有されているということの表れではないでしょうか。

このような活動は地味だけれども、それをベースにして色々な活動が展開ができる可能性を秘めており、とにかく自分たちの地域を守ってより良くしていこうという思いのある人々が集まっている大変住みやすい地域だと感激しました。

活動発表 ⑤

ＮＰＯちゃんぷる

【おわだ秋桜まつり】

休耕田を活用したコスモス畑づくりを地域と協力して行うことで地域の活性化を図り、内外の多くの人々が交流する「おわだ秋桜まつり」を開催しました。

1

2

「昔秋桜まつりが行われていた。」

減反を背景に意図的に休耕地にすることで生まれた新たな農地利用として、コスモス祭りは1992 (平成 4)年から11年間行われたが、高齢化が進み、資金調達やチーム作りが難しくなり、2003(平成 15) 年終了してしまう。

ちゃんぷるがお手伝いして復活できないだろうか！

3

秋桜まつりを復活させよう！

①地元の方に挨拶に行こう！
②いいとこ広場を会場にしたい
③休耕田を秋桜畑にしたい
④子供のあそび場をいいとこ広場に作りたい
⑤おもちゃの山ちゃんにも来てもらいたい
⑥森のマルシェ・体験コーナーを設けたい
⑦法の脇神社からの山道を歩いて、荒れてしまった山をみてもらい、さくら咲く学校にも足をのばしてもらいたい。

4

「秋桜まつり」イベント内容

開催前準備⇒夏ごろに草取り＆種まき
①開催日時⇒秋ごろ
②開催場所⇒いいとこ広場・休耕田
③内容
・秋桜畑⇒休耕田をかしてもらう
・子ども広場⇒ウッドパーク・落ち葉プール
・里山の現状を知ってもらう⇒アドベンチャーウォーキング
・当日の駐車場＆誘導員⇒ボランティア募集
④事業資金
・森のマルシェ⇒出店料
・掛川市補助金⇒市民活動推進事業への応募

5

11月6日　当日の来場者数（約900人）

6

来場者数　約900人

森のマルシェ＆体験コーナー　34店舗
ママバトン　おもちゃの山ちゃん　ヒデ坊と遊ぼう
地元の方　さくら咲く学校関係者　ボランティア4名
（8月21日　草取り＆種まき参加者　30名）

・普段来ることがない人達に来てもらえた
・大和田の良さを知ってもらった

「NPOちゃんぷる」が地域のためのお手伝いができる団体であると認識してもらえた。

7

アドバイザー講評　　川端 務夢

汗をいっぱいかかれたという感じがします。ＩＴが進み情報発信の術がいろいろできても、やはり人が汗をかいて動いていることに対して、人は共感しないわけがありません。特に地域の方々が自分たちの活動を活性化したいと思う反面、外側から入ってきた方に“お前達は何者なんだ”という思いがあるのは事実です。そこを補って余りあるものが、一生懸命さという汗です。

また、ひとつの団体が入るだけではなく、子育て支援の団体等と横連携を取りながら、この地域を普段は訪れない外部の方達を巻き込んだことも、とても評価できます。

今後のアドバイスとして、今回の得た素晴らしさはイベントの高揚感だけではなく、地域の方々と築いた信頼関係だと思います。地域を活性化するのは、日々の生活の中に「ここに住んでよかった」というまちづくりをしていくことだと思います。地域の中に、互助・共助というカタチができれば、世の中の社会的な課題・問題も、何ら問題なく解決でき、素晴らしい地域がうまれてくると思います。次のステップにしていくために、地域の方々と雑談も含め、飲み会とか女子会などで、さらに信頼関係を深めて、このまちはどう楽しくできるかと、一緒につくっていただければと思います。

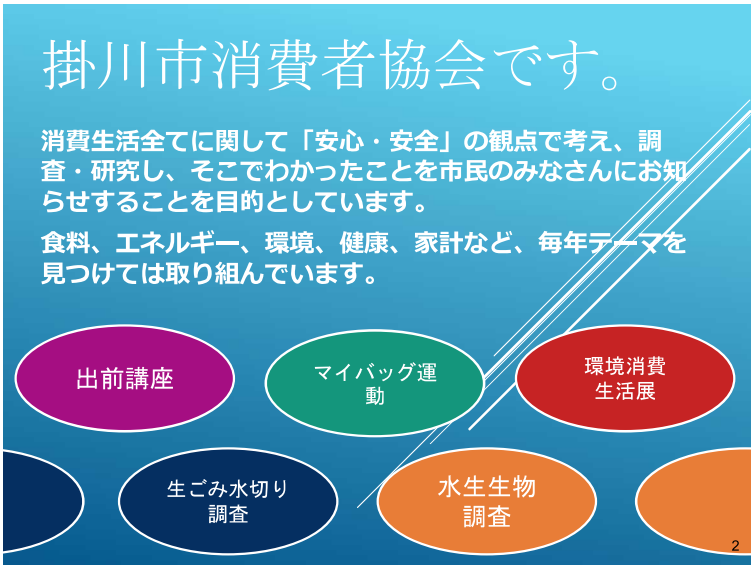
そして、誘導体的な動き方が出来るのがＮＰＯの特徴です。「掛川はこんなに素晴らしい」というところをちゃんぷる様がどんどん発信していただけると、さらに掛川市に人が増えると思います。

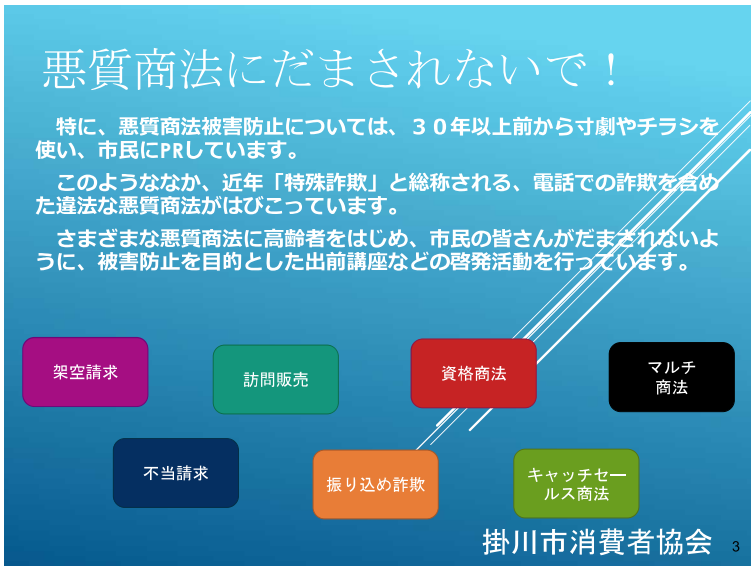
活動発表 ⑥

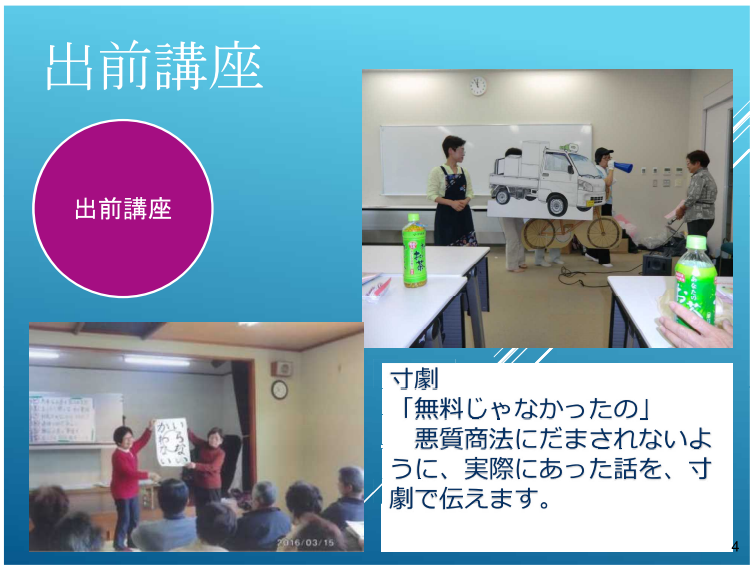
掛川市消費者協会

【悪質商法を撃退！ 啓発出前講座】

近年「特殊詐欺」と総称される違法な悪質商法が蔓延っています。このような悪質商法に高齢者などが引っかからないよう、啓発活動として、被害防止の出前講座を地区へ出向いて行いました。







掛川市環境消費生活展

環境消費
生活の森

5

マイバッグ運動

マイバッグ
運動

今ではあたりまえの“マイバッグ”ですが、マイバッグ持参を勧める「マイバッグ運動」は、県内でも先進事例でした！

6

水生生物調査

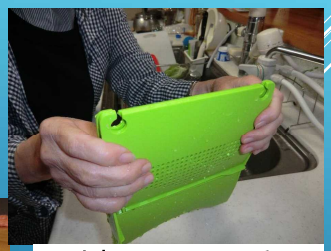
水生生物
調査

逆川上流部より調査開始
子ども達も参加

7

生ごみ水切り調査

生ごみ水切
り調査



水切り具や、手で水切り。
ほんの一絞りで、ごみの減量につながります。

8

アドバイザー講評　　高木 敦子

消費するというのは、私たちの生活の中ではどうしても毎日やらなければならないことですが、考えてみると買い物することについて教えてもらった経験はないです。お金を出して物を買えば、それで買い物が成立するけれども、買い物に関わるいろいろなルール、困ったときにはどうするか、返品する時にはどうするか、最低限どういうルールを守らなければならないか、カードを誤って使ってしまったときはどうするとかいうところは、実は教えてもらっていないのだと改めて思いました。なので、本当に困ってどうすればいいのかわからないときは、消費者協会様にお声を掛ければ助けていただけることが分かりました。

しかし、そのときにはすでに被害を被ってしまっている場合があるので、それを未然に防ぐためのプログラムや、小さい子ども達へのプログラム、ご高齢者の方へのプログラム、団塊の世代（現代の流行の大きな流れを作っている世代）の方達にも伝えていくプログラム。これまでの経験から消費者協会様は、多種多様なプログラムをお持ちだと思います。掛川市には様々なＮＰＯがあり、いろいろなスキルを持っている方がいますので、上手くそういう方達と一緒に連携して、協働して、そのノウハウを広めていただきたいです。

そして、掛川から善意を持ってお金を貸したけれど、騙されてしまったという悲しい思いをする人が少なくなり、良いと思って買ったものがとんでもないものだったということがなくなればいいなと思います。

活動発表 ⑦

株式会社 杏林堂薬局

【地域と歩む 杏林堂薬局の健康増進活動】

地域のみなさんが元気で、はつらつと暮らしていけるようご協力するために、これまで培ってきたノウハウを活かし、地域との協力のもとで、健康教室や健康セミナー等の健康増進イベントに取り組みました。

地域と歩む
杏林堂薬局の健康増進活動

杏林堂 SUPER DRUG STORE

株式会社 杏林堂薬局

Copyright © 2011. KYORINDO. Co., LTD. All Rights Reserved.

1

管理栄養士　薬剤師・登録販売者　ビューティースタッフ

専門スタッフが地域の皆様の心と体の健康を見守り、サポートいたします！

Copyright © 2011. KYORINDO. Co., LTD. All Rights Reserved.

2

管理栄養士による主な取り組み

①栄養相談会
②ニコニコ健康ナビゲーション
③健康セミナー・健康測定会
④グラウンドゴルフ大会
⑤お料理教室　　など

店舗での活動

店舗外での活動

これ以外にも様々な形で地域の皆様の健康増進のお手伝いをさせていただいております。

Copyright © 2011. KYORINDO. Co., LTD. All Rights Reserved.

3

---

①健康栄養相談会
②ニコニコ健康ナビゲーション

店舗での活動

【①健康栄養相談会】

◆対象店舗にて２ヶ月に１回実施

※掛川市では掛川花鳥園前店で実施しております。

◆参加料は無料です。

◆健康測定会＋健康相談会

・体組成測定
（筋肉量・体脂肪率など測定可能）
・骨密度測定
・血管年齢測定
・血圧測定

【②ニコニコ健康ナビゲーション】

◆対象店舗（22店舗）にて管理栄養士による個別の運動指導・食事指導。（２週間に１度）

◆会員制で参加費は有料。

◆１人だとダイエットに挫折してしまう方、運動不足を何とかしたい方、健康に不安を感じている方の健康増進のお手伝いをさせていただいております。

Copyright © 2011. KYORINDO. Co., LTD. All Rights Reserved.

4

店舗外での活動

③健康セミナー・健康測定会

◆お客様のところへ出向き、ご要望に沿ったテーマで健康セミナーを開催しております！

【テーマ例】

・熱中症予防　・認知症予防　・骨密度

・健康寿命　・食育　など・・・

Copyright © 2011. KYORINDO. Co., LTD. All Rights Reserved.

店舗外での活動

③健康セミナー・健康測定会

◆同時に**健康測定会**も実施できます！

健康測定機器をお持ちしますので、なかなかできない

ご自分の健康チェックもしていただけます。

もちろん管理栄養士が結果の説明やアドバイスをさせていただきます。

Copyright © 2011. KYORINDO. Co., LTD. All Rights Reserved.

※健康測定会で測定できるもの

骨密度計

骨の強さを測定できます。

体組成計

体重だけでなく、体脂肪率、筋肉量、BMIなども測定可能。

血管年齢測定

指先をセンサーにかざし、血管年齢の測定ができます。

貧血チェック

指先をセンサーにかざし貧血チェックを行います。採血はしません。

Copyright © 2011. KYORINDO. Co., LTD. All Rights Reserved.

店舗外での活動

④グラウンドゴルフ大会

◆杏林堂の店舗従業員が地域の皆様と一緒にグラウンドゴルフを行い交流させていただいております。

◆管理栄養士も参加し、健康測定会やお店のオススメ商品の試飲会や試食会なども行い、内容盛りだくさんのイベントになっています。

Copyright © 2011. KYORINDO. Co., LTD. All Rights Reserved.

⑤お料理教室

店舗外での活動

◆様々なテーマでお料理教室を開催しております。

【テーマ例】

認知症予防・低コレステロール・減塩・貧血予防　など

Copyright © 2011. KYORINDO. Co., LTD. All Rights Reserved.

イベント開催までの過程

◆担当者の方と直接お話をさせていただき、開催するイベントの内容を決めていきます！

・・・◆こんなことをやってみたい！

◆やってみたいけどどうすればいいか分からない・・・

何をしたらいいのか分からない場合でも
こちらから提案もさせていただきます！
是非ご相談下さい！

Copyright © 2011. KYORINDO. Co., LTD. All Rights Reserved.

お達者度県下NO．1に共感して・・・！

◆お達者度とは、65歳から、元気で自立して暮らせる期間を算出したものです。
◆県内市町の介護認定の情報、死亡の情報をもとに、生命表を用いて算出します
◆H25（28年発表）の結果によると・・・
掛川市は男性が10位、女性が26位という結果でした。

掛川市の目標は県下NO．１！！

地域の皆様の健康寿命がのびることは、
杏林堂薬局の目指すところでもあります。
杏林堂薬局の今までの活動や専門分野の知識を活かし、
「県下お達者度NO.1」、さらには「健康日本一」のまちを目指す掛川市と
一緒にまちづくりをすすめていきたいと考えております！

Copyright © 2011. KYORINDO. Co., LTD. All Rights Reserved.

【活動事例紹介】～健康セミナー＆健康測定会～

【掛川市　下俣町にて　敬老会での健康セミナー】
実施内容：体組成測定
　　健康セミナー（テーマ：健康寿命を伸ばそう！）
下俣地区で行われた「敬老会」のイベントに杏林堂が参加。
セミナー前に体組成を測定し、筋肉量、体脂肪率などの
結果をみながら健康寿命に関して
お話させていただきました。

Copyright © 2011. KYORINDO. Co., LTD. All Rights Reserved.

【活動事例紹介】～健康測定会～

【掛川花鳥園様　園内にて　健康測定会】
実施内容：健康測定会
（体組成・血管年齢・骨密度・貧血チェック）

ＪＲ掛川駅様主催の
ＪＲさわやかウォーキング実施日に合わせ
掛川花鳥園様の施設内で健康測定会を実施させていただきました。
300名近くのお客様が参加してくださいました！

Copyright © 2011. KYORINDO. Co., LTD. All Rights Reserved.

【活動事例紹介】～メーカー様によるセミナー～

**【天竜厚生会 子育て支援センター さやのもり様にて
和光堂様による離乳食セミナー】**
実施内容：離乳食セミナー・ベビーフード試食会（レトルト品）

離乳食に関するセミナーの依頼が杏林堂
にあり、実施することになりましたが、
より専門的に活動しているメーカー様
（和光堂様）にセミナーの実施依頼を
して実現した事例です。

Copyright © 2011. KYORINDO. Co., LTD. All Rights Reserved.

【今後の活動予定】～掛川第四地区まちづくり協議会～

◆今年の３月に掛川第四地区様との
健康増進イベントを計画中です！

地域の方とお話しながら、
具体的な内容を決めていきます！
要望をできるだけ反映させた
イベントになるよう計画中です！

Copyright © 2011. KYORINDO. Co., LTD. All Rights Reserved.

今までの活動と今後の展望

◆今までの活動の成果
「健康チェックできてよかった！」「ためになった！」
地域の皆様の嬉しいお声がたくさんありました！

◆今後の展望
・１回で終わるイベントだけでなく、継続的に地域の皆様の
健康支援が出来れば嬉しい。
・区、地区（まちづくり協議会）大きさは関係なくもっといろいろな
地域が交流できるような活動ができれば・・・

是非一緒に健康増進活動をしてみませんか？

Copyright © 2011. KYORINDO. Co., LTD. All Rights Reserved.

アドバイザー講評　　千野 和子

企業の専門性を活かしたＣＳＲという領域だけではなく、まちづくりの大きな担い手となっているという感想を持ちました。健康に関する施策とも大きく関わると思います。既に行政のやれることもやっていて、線引きが段々わからなくなるのではないかと思います。私たち財団もＣＳＲとして、企業とお話しすることが多いのですが、ここまで寄付をいただくとか番組を一緒に作るとか、寄付つき商品をいただくというようなＣＳＲにまだ留まっているのが現状です。杏林堂様のようにこういったカタチのまちづくりに、真剣に取り組むところはこれから期待されていくのだと感心いたしました。さらにこういった活動を広げていただけたらと思います。

アドバイザー総評　　日詰 一幸

大変聞き応え、そして見応えのある発表でした。私自身が感じたことなどを５つ、お話しさせていただきます。

１つ目は、どの事例を通しても、それぞれの地域で抱えている課題が何かを上手く掴んだ活動を展開していることです。特に、明確に自分たちが取り組まなければならない課題がはっきりしています。例えば、南郷地区のペット防災や、大須賀第一地区のミニ役場かわらばん、大坂地区の不法投棄といった明らかに地域が抱えて困っている問題については、すぐに地域でやっていく。つまり、各自治区単位では手が伸びなかったことも、地区まちづくり協議会で取り組めばさらに効果的にできるという事例でした。また、第三地区の方々はむしろ一体どういうことが自分たちの課題として優先順位が高いかをみんなで話し合って決めています。これは非常に面白く、そういった取り組みがこれから求められていくのではないかと思いました。どれも自分たちで抱えている課題を解決していくという心意気・意気込みがはっきりと示された事例でした。

２つ目は、対話や話し合うことが、どこでもなされていたと思います。地区まちづくり協議会にはいろいろな地域の活動団体の方々が入り、その中でいろいろな部会制や研究会がつくられ、さまざまな課題に対しての解決策の練り上げがなされていました。そのプロセスの中で、皆さんで話し合い、そして合意形成をしていく取り組みがされています。それが、住民が自治を進めていくための基本的な取り組みであり、そういったものがひとつひとつ踏まれていくことによって、非常に良い合意形成が成され、みんなが納得してその活動に入ることができたのだと思います。

３つ目は、協働を進めていくには役割分担があっていいと思います。それぞれの自治区がもっているいろいろな得意技や資源をみんなで持ち寄り、ひとつの解決策に向かっていく、あるいは、まちづくり協議会で手に負えないことは、行政や企業の方と連携するといったような取り組みが大事だと思います。そこで、地域の連携の仕組みづくりを協働という枠組みの中でやっていくことがとても大事で、それをこれから掛川市の地区まちづくり協議会の中で行っていくとより一層、より良い解決策が見出されていくと思います。

４つ目は、活動の中でできあがった信頼関係を更に強化していくことです。そして、より良い活動を外へ発信することが大事だと思います。いろいろな市町で、小学校区単位によるいろいろなまちづくりの活動が行われており、同じような課題を抱え、その課題をどのように解決していったら良いのかということを模索しています。皆様のご経験は、そのような方々に非常に参考になるものです。広域的に、そういった方々と交流してもいいのではないかと思います。

５つ目に、企業ではＣＳＲを超えて、地域課題の解決が自分たちの収益活動にもつながるという考え方が出てきています。自社がもっているいろいろなノウハウや営業活動、サービスの提供が地域の課題解決に繋がっていく。実はそこで収益も得られる、双方が得をする関係をつくれる、というようなカタチになり始めています。企業の皆様が持っている専門性やノウハウとうまく連携することで、より効果的で良い解決策を見出していくことが、これからは大事になってくるのではないかと感じました。

まちづくり活動紹介エリア（ホワイエ）

参加団体　１６団体

【まちづくり協議会】
- 地区まちづくり協議会連絡会
- 倉真地区まちづくり協議会

【市民活動】
- ママバトン
- f.a.n.地域医療を育む会
- 掛川市消費者協会
- 掛川少年少女合唱団
- Ｔｈｉｓ ｉｓ Ｋａｋｅｇａｗａ
- ＮＰＯ法人掛川シニア交流研究会
- ＮＰＯ法人時ノ寿の森クラブ
- 子育て希望モデル事業
- 世界女性会議
- 掛川人づくり研究会
- 災害ＶＣ掛川
- 達人に学び伝える会

【企業】
- （株）長尾機設
- （公財）ふじのくに未来財団

記録写真

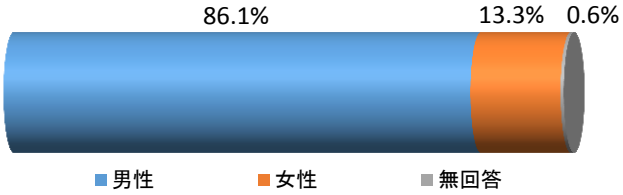
【今後の活動予定】
～掛川第四地区まちづくり協議会～
◆今年の3月に掛川第四地区様との
健康増進イベントを計画中です！

アンケート結果

参加者総数　620人　　アンケート回収　330枚　（回収率　53%）

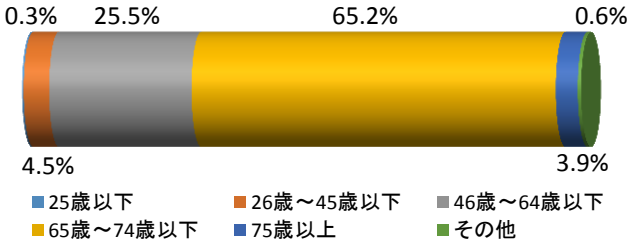
（1）あなたの性別を教えてください。

男性	284	86.1%
女性	44	13.3%
無回答	2	0.6%



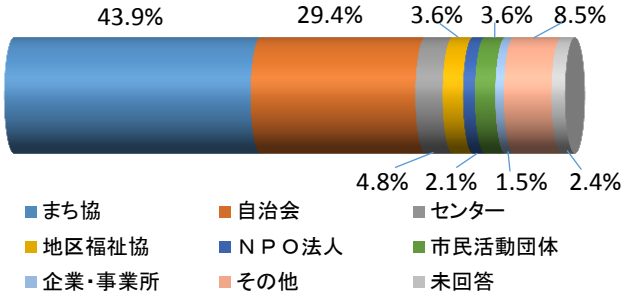
（2）あなたの年齢をを教えてください。

25歳以下	1	0.3%
26歳～45歳以下	15	4.5%
46歳～64歳以下	84	25.5%
65歳～74歳以下	215	65.2%
75歳以上	13	3.9%
その他	2	0.6%



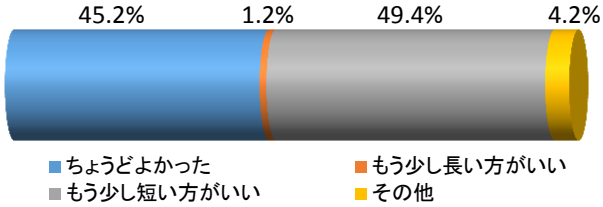
（3）あなたの所属する組織を教えてください。

まち協	145	43.9%
自治会	97	29.4%
センター	16	4.8%
地区福祉協	12	3.6%
ＮＰＯ法人	7	2.1%
市民活動団体	12	3.6%
企業・事業所	5	1.5%
その他	28	8.5%
未回答	8	2.4%



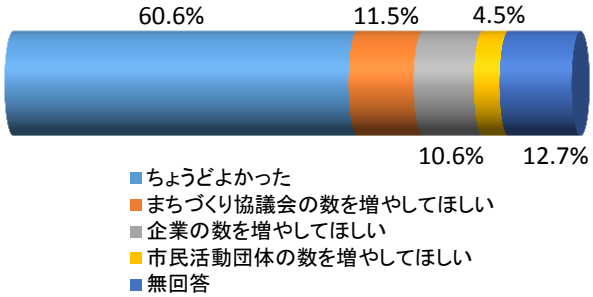
（4）まちづくり活動発表会全体の開催時間はいかがでしたか。

ちょうどよかった	149	45.2%
もう少し長い方がいい	4	1.2%
もう少し短い方がいい	163	49.4%
その他	14	4.2%



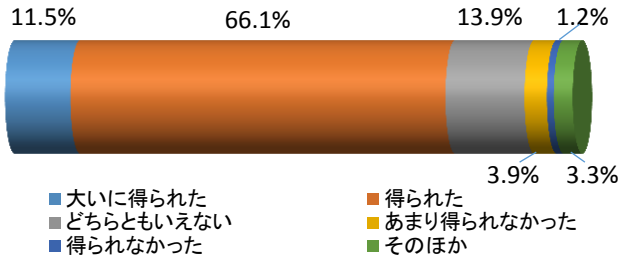
（5）発表団体の数はどうでしたか。

ちょうどよかった	200	60.6%
まちづくり協議会の数を増やしてほしい	38	11.5%
企業の数を増やしてほしい	35	10.6%
市民活動団体の数を増やしてほしい	15	4.5%
無回答	42	12.7%



（6）今後のまちづくり活動に活かせる気付きは得られましたか。

大いに得られた	38	11.5%
得られた	218	66.1%
どちらともいえない	46	13.9%
あまり得られなかった	13	3.9%
得られなかった	4	1.2%
そのほか	11	3.3%



（7）発表会全体を通しての感想を教えてください。

- 色々な異なる視点での発表があり、大変有意義だった。
- まずは行動を起こすことだと気づいた。
- 着眼点など色々なヒントを得られて良かったです
- まち協・ＮＰＯ・企業と多様な発表で勉強になった。
- 発表ごとのコメンテーターの講評がよかった。
- 地域の広域性を持った活動を展開していくのが良いと分かった。
- 無償ボランティア活動よりも継続的に活動するためには有償での活動が良いか。
- 今回は困っていることへの協働活動が多かったが、地域の宝物探し発表会(協働)も聞きたいと思った。
- 地域が抱えている困った問題について、みんなで協力して解決していることは素晴らしいと思った。
- 各団体とも住民のニーズをよく掴み、ワークショップ等でよりよい活動方法を実行し成果を上げていることがうかがえた。
- 俺についてこいはダメ。
- 2時間30分の発表会ですから、途中で休憩が必要ですね。
- 事業の継続性をどのようにするか具体的な事例を知りたい。
- 活動事例が少ない。
- 市民の多様なニーズに対しての活動発表がせまい。
- 発表時間が長い。

などなど、多数のご意見をいただきました。

まちづくり 成果共有へ

掛川 7団体が活動事例発表

掛川市は16日、市民や企業のまちづくり活動の事例を紹介する「協働によるまちづくり活動発表会」を市文化会館シオーネで開いた。約620人が出席し、7団体の発表に耳を傾けた。

2016年度から市内の全31地区まちづくり協議会が活動を開始したことを受けて、先進事例の成果や手法を共有しようと初開催した。南郷地区まちづくり協議会はペット防災訓練を実施した目的や準備での反省などを紹介。静岡大人文社会科学部の日詰一幸教授らアドバイザー4人が、「専門知識を持ったNPOと連携し、活動後のフィードバックまで丁寧に行ったのは素晴らしい」などと講評した。

冒頭で松井三郎市長は「この発表会を、協働によるまちづくりがさらに発展する機会としたい」とあいさつした。（掛川支局・西村直人）

発表を講評する日詰教授（右）＝掛川市文化会館シオーネ

静岡新聞　平成29年2月18日土曜日　朝刊

～編集後記～

平成28年度は、市内32の地区に31の地区まちづくり協議会が設立され「協働によるまちづくり開花の年」として、市内では活発な地区まちづくり活動が行われました。

また、市民活動団体による取り組みや、企業の社会貢献活動についても、これまでの活動に加え、地域との協働により様々なテーマを掲げ開催されたことで、さらに活発に取り組まれた一年でした。

今回の発表会には、多くのセクションから多数の方々にご参加いただきました。今年度に市内で行われた素晴らしい活動や、まちづくりに取り組まれる様々な団体の皆さんをご紹介することができ、次の協働に向けた新たな気づき、そしてつながりが生まれ、市内により深い“絆”を育むことができたのではないかと感じました。

今後、開花したばかりのまちづくりの花がより大きく育つよう、協働による相乗効果を活かした、市民主体のまちづくりを進めていきたいと思います。

協働によるまちづくり活動発表会事務局

掛川市企画政策部生涯学習協働推進課　佐藤・梅田
TEL　0537－21－1129　　FAX　0537－21－1165

絆を育む まちづくり